5604-0121 パタークラブベンディングマシーン
取扱説明書

多様なヘッドに対応可能なパタークラブ・ベンディングマシーン

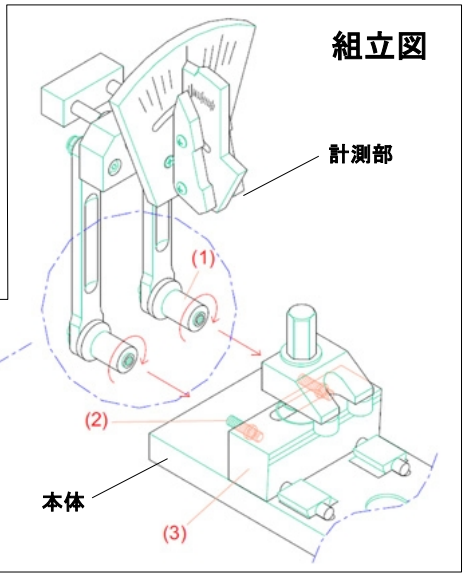
スチール・ベンドシャフトを備えたパタークラブのベンド(曲がり)調整、またはヘッドのネックを調整することで、ロフト・ライ等のフィッティングを可能にする機器です。 真鍮製と樹脂製、2種のクランプセットを使い分けることで、多様なパターヘッド形状に対応します。

ベンド調整には、別売りのベンディング・チューブを使用することで、曲げる際にシャフトにかかる負荷を分散し、チューブ端部内側のテーパー構造で効率的なベンディング角度調整が可能です。

ヘッドのネック調整には、別売りのベンディングバーを使用し、2種類のネック保持用クランプをヘッドに応じて使い分け、ロフト・ライを調整します。

なお、本品の計測機能は、調整前後の差異を測定するためのものであり、クラブとしてのロフト、ライを計測するものではありませんので、ご注意下さい。

※アイアン向けのベンディング・バー等でパターのネックに力を加えると、破損に繋がりますので、お止め下さい。

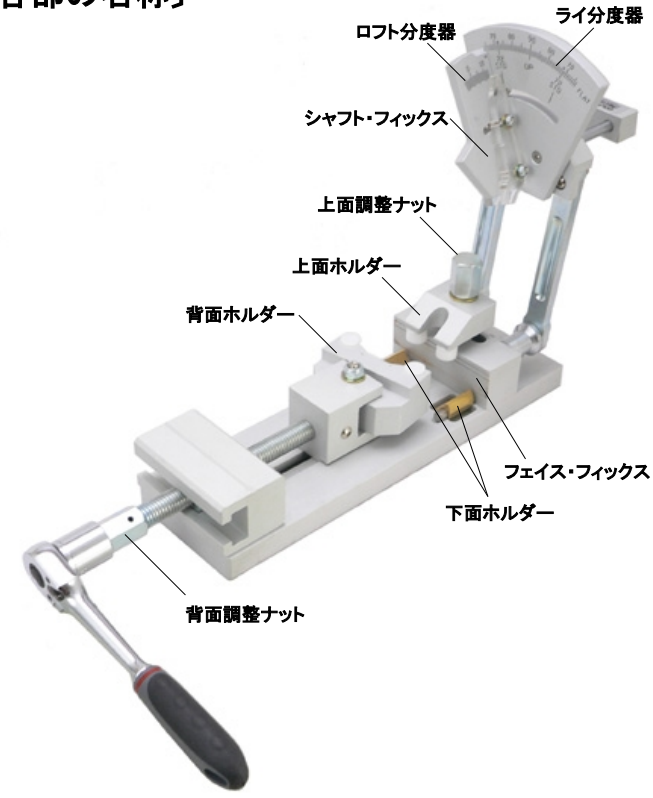


〔組立〕

■左の組立図のように、(1)のピンと、(3)のクランプ背面に装着された(2)のスクリューの位置を合わせ、(1)のピンを矢印の方向に、ゆっくりと締付けます。この時、2つの(1)ピンを、代わる代わる少しずつ、クランプ背面に接触するまで、締め付けて下さい。先に一方だけを締付けてしまうと、他方との平行性が損なわれますので、ご注意下さい。

※(1)ピンは、指で締付けられるように作られていますので、レンチ等は必要ありません。また、(4)の六角ネジは工場出荷時に固定されていますので、緩めたりしないで下さい。

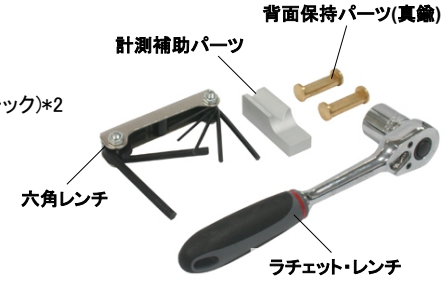
〔各部の名称〕



〔梱包内容〕

【本体、組込済部品】
本体
下面保持パーツ(真鍮)*2
背面保持パーツ(プラスチック)*2

【同梱部品等】
計測部
計測補助パーツ
ラチェット・レンチ
六角レンチ
背面保持パーツ(真鍮)*2



別売関連用品のご案内

ベンディングマシーンスタンド
(5601-0003)

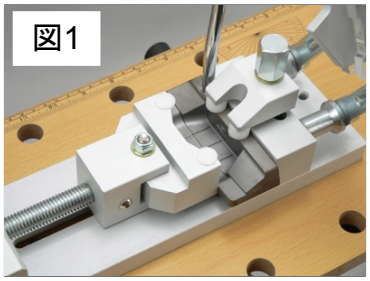
パターシャフトベンディングチューブ
(5604-0131)

パターネックベンディングバー
(5604-0251)

〔設置〕

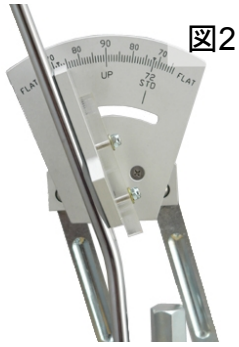
■本品は必ず、専用設計のベンディングマシーンスタンド(5601-0003)や、固定された作業台に設置した上でご使用下さい。不安定な場所での使用は、調整に支障を来たします。
■ベンディングマシーンスタンド(5601-0003)への固定方法は、スタンドに付属の説明書をご覧下さい。
■作業台等への固定では、本品に備えられた固定用穴を利用しますが、機器の動作に支障が出ないよう、ご注意下さい。作業台の天板寸法に応じ、適切な固定ボルト等をご使用下さい。

〔ロフト・ライ調整方法〕



[クラブの固定]

(1) ヘッドの傷付きを防ぎたい場合は、各接触面に保護のためのテープや、厚手のビニール等に包んでから、作業して下さい。ただし、テープやビニールによる遊びが大きくなると、調整時のロフトやライの誤差に繋がりますので、計測時は、ご注意下さい。
(2) パターのソール面を下面ホルダーに載せ、フェイスをフェイス・フィックスに当てます。ラチェット・レンチで背面調整ナットを回し、背面ホルダーをヘッドに当てていき、遊びやガタ付きが無くなる所で止めます。ヘッドが傷付きますので、締付け過ぎにご注意下さい。
(3) ヘッド上面を水平に抑えるよう、ラチェット・レンチで上面調整ナットを回し、上面ホルダーを押し下げていき、遊びやガタ付きが完全に無くなる所で止めます。



[調整量の確認]

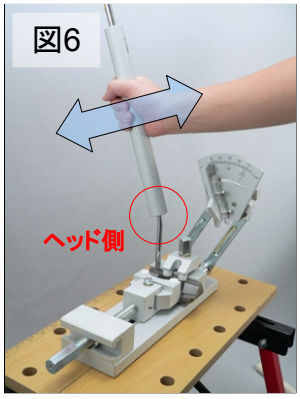
(1) 現状のライ確認のため、図2のようにシャフトをシャフト・フィックスにあてがい、ライ分度器の数値を読み取ります。
(2) 次に現状のロフト確認のため、図3のようにシャフト・フィックスをシャフトのフェイス面方向からあてがい、ロフト分度器の数値を読み取ります。F.Pが大きく、フェイスとシャフトが離れていて、フィックスが当てられない場合、付属の計測補助パーツを図4のように、使用して下さい。ライに対しても使用可能です。
(3) これらの数値を調整前の数値として、そこから何度調整するかを決定します。

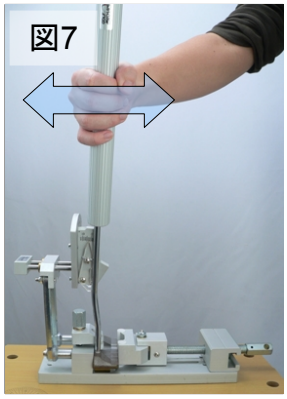
[ベンドシャフトの調整]

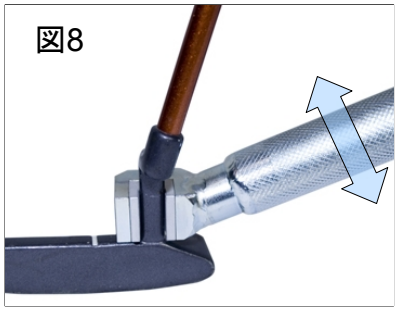
※以降の説明図中では、別売の『パターシャフト ベンディングチューブ』(5604-0131)を使用しています。シャフトに力を加える際の変形を防ぐためにも、本品との同時使用を推奨致します。ご使用の際は、端部の内部が拡がっているフレアー形状の部分(図5)を、ヘッド側のシャフトがベンドしている部分にあてて使用します。
(4) ライは、図6のように、パターのヒール-トゥ方向に平行に力を加えることで調整します。この時、シャフトのベンドの一箇所を曲げると、シャフトの折れや凹みに繋がりますので、ベンド部分全体に力を分散させて下さい。
(5) ロフトは、図7のように、パターのフェイス-バックフェイス方向に平行に力を加えることで調整します。
(6) シャフトのベンド形状によっては、ライとロフトが同時に変わってしまう場合もありますので、こまめにロフトとライを確認しながら、必要な調整角となるまで、確認と調整を繰り返して下さい。

[ネックの調整]

(7) ヘッドのネックを調整する前に、調整が可能なヘッド素材かを確認して下さい。一般的に、SUS303/304等のステンレスや軟鉄は、調整可能な場合が多いですが、メッキ処理されていると、表面にヒビ等が発生する場合もありますので、詳細は、メーカーにお問い合わせ下さい。
(8) 調整は、図8のように、ベンディングバーの2種のクランプのうち、ネックの長さに近い側を使用して下さい。基本的な調整方式は、シャフトの場合と同様に、対応する方向にクランプして、力を加えて調整して下さい。別売のプラスチック・クランプ・ジョー(5604-0253)をご利用頂くと、通常のアルミクランプよりも、ヘッドを傷付けにくくなります。但し、調整自体はアルミ製クランプの方が容易です。







Geotech
株式会社 ジオテックゴルフコンポーネント 千葉市中央区鶴沢町8-6
TEL. 0120-168-188 FAX.0120-655-188 http://www.geotechgolf.com/